

事業所名 グループホーム海の見える家
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 2月 8日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 看護師、介護支援専門員
資格・経験 看護師(37年以上)、介護支援専門員
B:現職 介護支援専門員
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

周辺は、保徳保安林、国立公園などの名勝地に指定されており、ホームからは海が望め、山菜や野蕈などが採れる山が目の前にある。近くに国民宿舎おかやま桃太郎荘があり、自然環境に恵まれたロケーションである。

「主役は入居者ご本人」をテーマに入居者のありのままの姿を支えながら、常に職員が入居者の傍に寄り添い語りかけながら一緒に過ごされている。入居者の穏やかな表情や笑顔から、入居者と家族的な環境の中で認知症の進行を遅らせるため「安全安心」を中心に認知症介護に取り組んでいることの素晴らしさを感じられた。

提携医療機関として光南台クリニック、くましろ歯科医院があり、定期的に往診が受けられ、緊急時はセントラルシティ病院で対応してもらえる。入院の出来る総合病院もあり、医療との連携も取れている。

家賃が比較的安く設定されており、経済的な面からも入居者本位に良心的に配慮されている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

人員の面で忙しく継続研修が途切れているが、研修に参加できる体制作りに努める必要がある。

地理的な面で頻回な家族の訪問は難しい面もあるだろうが、家族の面会が多くなるよう工夫し、面会時に家族の意見や要望を聞き出すことを積極的にに行い、介護計画の見直し時にも家族からの情報も活かせるようにできればと思う。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>心のあり方として「福祉は人なり」を重視している。具体的には、「1.相手の立場に立つ心 2.その人の全てを受容する心 3.自分を見返る心 4.責任と自信を持つ心 5.心と心の繋がりを大切にできる心」を掲げている。</p> <p>介護者の姿勢として、「1.その人らしく生きていかれるよう援助する 2.プライバシーを守り規制のない自由な暮らしを営むことが出来るよう援助する 3.能力を活かした役割分担により充実した生活が営めるよう援助する 4.一人ひとりの人生経験と尊厳を重視 5.愛情を持ち援助できること」を掲げている。</p> <p>管理者と職員は「優しい心で、入居者本位のその人らしさを支える家庭的な暮らしを」をモットーに、毎朝の申し送り時や事あるごとに提唱することで基本に立ち返り、理念を具現化して良いケアに反映するよう努めており、ゆったりとした家庭的な環境の中で安定した明るい共同生活を目指していた。</p> <p>2号館にいる友達との交流や、近くのグループホームゆうゆう館への訪問や買物、地域の秋祭りなどを通して地域にも参加し、充実した社会生活ができるように支援している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりと取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>玄関出入口にスロープがついており障いずで通りやすくなっている。ガラス張りの玄関や居間からの眺めが良く、自然に外気浴がしたくなるような雰囲気である。</p> <p>常に職員と入居者が一緒に過ごしており、昔懐かしい歌を歌ったり朗読したり共に話をしたりされており、集団にすぐに入れない方に対してもその人のつづがやきや話しかけを無視せず、ゆっくり充分話を聞き心身ともに安定してもらい配慮がされていた。</p> <p>管理者を始め、職員が明るい笑顔で穏やかに接しており、入居者のベースに合わせた支援がなされている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>認知症だから出来ないという先入観を無くし、入居者と一緒に顔を作り、その中にそれぞれの思い出の写真を入れて飾ったり、塗り絵などの適度な作業を通して日常生活の意欲、希望の表出に繋げている。</p> <p>入居者の生活歴・経験を踏まえ、残存機能に合わせて米とぎや食器の後片付け・掃除・洗濯たたみなどをされており、それぞれが役割を持って自然に生きられる環境作りを基本としていた。</p> <p>面会者の記入はノートからシートに写し、入居者の個人記録は鍵の掛かるロッカーを購入して保管するなど個人情報の保護にも努めている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>明るく穏やかで入居者本位の施設運営に欠かせないのは、「あいさつ」と「笑顔」であることを念頭に入居者に接しており、入居者の笑顔をスタッフのやりがいにつなげている。</p> <p>系列グループホームの管理者が月1回の話し合いを持ち情報交換したり、入居者が他のホームのイベントに参加する等の協力体制を取り、サービスの質の向上に努めている。</p> <p>管理者は入居者や職員の個性の把握に努めており、トラブルが起こりそうな時も今までの経験の積み重ねでトラブルを未然に防いでいる。</p> <p>管理者が中心となって、事故報告書を流さずすに記録する体制を取り、更にそれを連絡ノートで検討・分析することにより全職員の問題の共有化を図り、再発防止に繋げている。</p>		